

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
保健体育・保健	1年	1	現代高等保健体育（大修館書店）	現代高等保健体育ノート（大修館書店）
科目の概要と目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や態度を育てる。			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や配布するプリントを使用して授業を進める。</li> <li>項目によって、実習・実技をおこなう。</li> </ul>			
評価の観点と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組みでは、「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」を評価する。</li> <li>定期考査では、科目の到達目標をふまえた問題で、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>課題では、「知識・技能」「主体的に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>			
学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標		
年間の授業内容	1 単元 現代社会と健康  1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康  2 単元 安全な社会生活  4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	1・2 健康指標や疾病構造の変化には社会背景が関わっている事を知り、日本の健康課題を理解する。健康の考え方や成立要因について理解する。  3 生活習慣病の種類や要因について理解し、予防法を例に挙げて説明できる。  4・5 がんの種類や原因について理解し、予防や治療の方法、社会的な対策について説明できる。  6～8 健康を維持増進するには適切な運動・食事・睡眠及び休養などの調和のとれた健康的な生活の重要性を理解する。  4～6 救急救命法を正しく理解し、ダミー人形を使って実践する。※地元消防署の協力を得て、実技研修を実施。		
	1 単元 現代社会と健康  9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	9・10 喫煙・飲酒の健康影響について理解し、被害防止のための対策についても理解する。  11 薬物について正しく理解し、生涯にわたり関係を持つことがない生活の有効性を理解する。  12～14 精神疾患の例をあげ、発病の要因や症状について説明できる。予防方法や早期発見に必要なことを理解し、治療や回復のためにどのような社会環境が必要か説明できる。  15～16 感染症について理解し、その種類や流行要因、予防方法などを理解する。感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。  17 性感染症・エイズが他の感染症と異なる点について理解し、予防や対策について説明できる。		
	1 単元 現代社会と健康  18 健康に関する意志決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり  2 単元 安全な社会生活  1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における社会	18 意志決定・行動選択に影響を与える要因について理解し、健康で適切な意志決定・行動選択に必要な工夫について説明できる。  19 社会環境の健康への影響について、例をあげて説明できる。ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの特徴について説明できる。  1～3 我が国の道路交通事故の状況を知り、防止には自他の生命を尊重するとともに、個人の適切な行動が必要であることを理解する。また防止には、法的な整備、施設設備の充実、車両の安全性の向上などの対策が必要であることを理解する。		